

01 企業経営と知財

1. 企業活動と知財の関係

- ① 物品販売と知財
モノを買う場合の判断基準／知的財産権が役に立つ場合／知的財産権が役に立つ状況
- ② 企業活動における知財
「知財」とは？／企業における「知財」
- ③ 知財活用の具体事例
中小企業の活用事例紹介

2. 知財担当者の役割

- ④ 知財担当者と特許事務所
知財戦略の構築／知財戦略の実行
- ⑤ 他社知財の対応
- ⑥ 自社知財網の構築
費用対効果／発明から考える特許、事業から考える特許

＊第1回受講後、習得できること

- ・ どのような企業にも知財が存在することがわかる
- ・ 知財担当者としての心構えが持てるようになる
- ・ 知財担当者が行う具体的な知財活動（知財業務）を知ることができる

02 特許

1. 特許活用事例と特許制度の紹介

- ① 商品化された特許の紹介
- ② 特許に関する問題事例
- ③ 特許出願手続き及び中間手続き
特許を受けることができる「発明」／技術的思想の創作／新規性／進歩性／特許手続きの概略／出願時に必要な書面／各種書面の紹介／特殊な出願制度／実用新案と特許との違い

2. 特許権の権利範囲

- ④ 特許公報
特許公報の種類／特許公報の記載内容／特許公報の読み方／特許公報の役割／特許公報の調査
- ⑤ 特許請求の範囲の読み方
「特許請求の範囲」とは／判断基準の原則／特許請求の範囲の性格
- ⑥ ケーススタディ
具体例を使った「特許請求の範囲」の読み方の実践

＊第2回受講後、習得できること

- ・ 特許法の法制度の概略や特許出願の流れがわかる
- ・ 効率の良い特許の調べ方、公報の読み方がわかる
- ・ 特許請求の範囲の読み方が理解できるようになる

03 意匠

1. 意匠活用事例と意匠制度の紹介

- ① 商品化された意匠の紹介
- ② 意匠に関する問題事例
- ③ 意匠出願手続き及び中間手続き
意匠権を受けることができる「意匠」／意匠手続きの概略／出願時に必要な書面／各種書面の紹介／特殊な制度（手続き）

2. 意匠権の権利範囲

- ④ 物品と形態
意匠権の効力／意匠の類似／登録意匠の範囲／物品とは／物品の特定／形態とは／形態の特定
- ⑤ 類否判断
類否判断の具体的手法
- ⑥ ケーススタディ
具体例を使った類否判断の実践

＊第3回受講後、習得できること

- ・ 意匠法の法制度の概略や意匠出願の流れがわかる
- ・ 意匠の類否判断のポイントがわかる
- ・ 意匠権の効果的な使い方を知ることができる

04 商標

1. 商標活用事例と商標制度の紹介

- ① 商標の活用事例の紹介
- ② 商標に関する問題事例
- ③ 商標出願手続き及び中間手続き
商標権と他の知財権との根本的な違い／商標の機能／商標登録の要件／商標手続きの概略／出願時に必要な書面／各種書面の紹介／例外的な制度（手続き）

2. 商標権の権利範囲

- ④ 商標と商品・役務
商標権の効力／専有権とは／禁止権とは／商標とは／役務（サービス）とは
- ⑤ 類否判断
商標の類似／商標の類否判断／商品・役務の類似／商品・役務の類否判断
- ⑥ ケーススタディ
具体例を使った類否判断の実践

＊第4回受講後、習得できること

- ・ 商標法の法制度の概略や商標出願の流れがわかる
- ・ 商標登録を受けるための7つの要件がわかる
- ・ 具体的な商標の類否判断の手法がわかる

各回が関連する部分もあり 4回続けての受講をお薦めしますが、各回ごとの受講も可能です